

モザンビークにおける ユース中心のSDGs達成に向けた インターナショナルESD

〒790-0803
愛媛県松山市東雲町5-6
電話:089-993-6271
E-mail:wakuwaku@egn.or.jp
http://www.egn.or.jp



ひろげる助成

1年目

実践



小学生との交流の様子

モリンガ育苗	120本
ESDエコツアー 参加コースメンバー	3人
今年度計画の達成度	87.5%
活動の全体目標に対する 達成度	40%

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

「SDGs」をポルトガル語で「SDOs」と表すなど文化や言語の異なるモザンビークで村人たちにSDGsを理解してもらう点。

■ 工夫した点

ビコ太郎の「SDGsダンス」映像を活用。小学校全児童・教員、村の人々にダンスとともに参加型で紹介することができた。



課題

モザンビーク共和国・シヤンガニーネ村では、①村で適切に処理できないゴミが放置されている。②十分な教育を受ける場がなく、生活の質の改善を図ることができない。

目標

ユース世代を中心にコミュニティラーニングセンター(CLC)をESD拠点として、ごみ回収活動の習慣化、コミュニティフォレスト整備、ユース交流による学びあいを行う。

活動内容と成果

●公共スペースのごみの量・種類の把握を行い、公民館にごみ分別スペースや4R(リメイク・リフォーム・リユース・リサイクル)の看板を設置し啓発を行った。●村人を対象に循環型社会構築のための研修プログラムを計10回実施

し、10~30人/回が参加した。●コミュニティフォレストづくりのため栄養価の高いモリンガの育苗を行い、観察学習のためのモデルシートを作成した。●日本の大学生3名とともにESDエコツアーを試行し、村の子どもたちとSDGsダンス交流等を実施した。●活動紹介のための映像資料を作成した。



今後の展望

ユースの参加・参画を踏まえ、さまざまな「学び」と「実践」のサイクルができつつある。今後、リーダー育成に力を入れると同時に、歌やダンスなどによる共有化を図り、地域全体への効果的な普及方法も検討したい。